

事業所における放課後等デイサービス自己評価(公表)

公表：平成31年2月21日

事業所名：留萌中部地域子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		
	②	職員配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・階段、段差等の見守りを徹底している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・常に話し合いを実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○			・昨年度の結果を基に、活動につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○			・専門支援員による療育評価を実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部、内部研修ともに充実している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・発達評価を随時実施し、保護者のニーズに添い、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・社会生活能力検査を実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・年度初め、月始めに立案し、週毎に細かく話し合う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子ども達の支援ニーズに合わせて工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・バス遠足や季節に合った行事を工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの今の状況（希望）に合わせ、集団又は個別の対応をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎回行っている。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・問題点、課題の振り返りを実施し、次につなげている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日誌をつけ振り返りを行う。
	⑱	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・保護者との定期的な話し合いを実施している。
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本的活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・全体的な発達を目指している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		・ケースにより担当が参加する事もある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎児の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・できる限り細かく連携が取れるよう努力している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・ケース連絡を定期的に提出し、指示を受けている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・家庭支援等必要なケースは特に努めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・支援の経緯、課題等引き継ぎを行っている。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・支援の方向性等助言を受けている。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○		・個々に参加しており、放課後等デイサービスとしてはなし。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	②8	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・活動内容、目的等を口頭やお便りで伝えている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・保護者のニーズ、思いへの共感に努めている。
保護者への 説明責任等	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・内容により、別の機関を紹介する事もある。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・同じ悩み、境遇を持つ保護者が話をする場等を提供している。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		・苦情が発生した場合、即対応するよう努めている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・月1回、活動内容や目的等をお知らせしている。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時 等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・事業所内に掲示している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・定期的に実施していく。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修会に参加し、職員の意識向上を図っている。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者への確認を実施。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・今後、実施していく。